

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校					2026年度 シラバス				
科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル			必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科			授業 形態	講義演習	総時間		開講区分	前期
コース	全コース					(単位)	1	曜日・時限	木曜・1.2限
【授業の学習内容】									
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 *実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、 2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、 2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップソング・日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)									
【到達目標】									
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。									
授業計画・内容									
1回目	個人目標設定を行う								
2回目	腹式呼吸が出来るようになる								
3回目	ステージでのマイクテクニックを知る								
4回目	リズムの仕組みを知る								
5回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)								
6回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる								
7回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる								
8回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる2(アイソレーション、ポップ、サイドスライド)								
9回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行う								
10回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる								
11回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる								
12回目	試験								
13回目	試験総括(改善点を知る)								
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。								
評価方法	1.定期試験 60% 2.出席率 40%			評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう!								
【使用教科書・教材・参考書】									
iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー									

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校					2026年度 シラバス				
科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル			必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科			授業 形態	講義演習	総時間		開講区分	後期
コース	全コース					(単位)	1	曜日・時限	木曜・1.2限
【授業の学習内容】									
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 *実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、 2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、 2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップソング・日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)									
【到達目標】									
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。									
授業計画・内容									
1回目	歌唱時のフォームを意識することが出来る								
2回目	リズムを意識した歌唱パフォーマンスが出来る								
3回目	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが出来る								
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(HIT,POP)								
5回目	共鳴(頭部)について理解する								
6回目	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが出来る								
7回目	歌唱パフォーマンス時の体のバランスを整える								
8回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(STOP,体重移動)								
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる								
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる								
11回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める								
12回目	試験								
13回目	試験総括(改善点を知る)								
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。								
評価方法	1.定期試験 60% 2.出席率 40%			評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！								
【使用教科書・教材・参考書】									
iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー									

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

2026年度 シラバス

科目名 (英)	アクション基礎	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴鹿貴規
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻声優アーティスト専攻					曜日・時限	火曜日1.2限
【授業の学習内容】 ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する エンターティナーとして基礎体力と身体作りを重要なポイントと定めて、しっかり筋力や柔軟性を身につける。 アクションでは、相手に怪我をさせない基本的な蹴り方・蹴り方、リアクションや間合いの取り方を習得する。 ※実務者経歴： 哀川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カミツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテインメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
【到達目標】 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な殴り方、蹴り方、リアクション、間合いを理解している。 目標①自身が怪我をしない、相手に怪我をさせない蹴り方、蹴り方を理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③アクションだけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	基本の殴り方の習得を行う① ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(拳の握り方・ファイティングポーズ・殴りの基本の型(オーソドックススタイル))
2回目	基本の殴り方の習得を行う② ○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(拳の握り方・ファイティングポーズ・殴りの基本の型(オーソドックススタイル))
3回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う① ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し左右】)
4回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う②○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀左右】)
5回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う③ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)
6回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う④ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)
7回目	リアクションの基本の習得を行う ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○リアクションの基本の形
8回目	対人での拳の通し方が出来るようになる ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方
9回目	対人での拳の通し方が出来るようになる② ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方
10回目	対人での蹴りの出し方が出来るようになる① ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方・蹴りの出し方
11回目	対人での蹴りの出し方が出来るようになる② ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方・蹴りの出し方
12回目	対人でのアクションの習得を行う① ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○リアクションの基本の形 ○1対1のアクション
13回目	対人でのアクションの習得を行う② ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○1対1のアクション
14回目	前期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が必要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋力トレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	アクションは実際に殴ったり蹴ったりする格闘技ではなく、戦っているように見せる演技です。 近年、映画やドラマだけでなく2.5次元舞台でも戦う物が増えて来ています。 俳優だけでなく表現者として必要な技術となってきますので、体調管理をしっかりして休まないようにしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
通年：動きやすい服装・上履き	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	アクション基礎	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴鹿貴規
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1	開講区分	後期
コース	俳優/タレント専攻 声優アーティスト専攻					曜日・時限	火曜日1,2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するの、具体的に記載する) エンターティナーとして基礎体力と身体作りを重要なポイントと定めて、しっかり筋力や柔軟性を身につける。 アクションでは、相手に怪我をさせない基本的な握り方・蹴り方、リアクションや間合いの取り方を習得する。 ※実務者経験：哀川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテインメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
【到達目標】 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な握り方、蹴り方、リアクション、間合いを理解している。 目標①自身が怪我をしない、相手に怪我をさせない握り方、蹴り方を理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③アクションだけでなく物事に対する向上心、若事に真摯に向き合う心を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ボディアクションの基礎の習得を行う①○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら対人での拳の通し方・蹴りの出し方
2回目	ボディアクションの基礎の習得を行う②○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら対人での拳の通し方・蹴りの出し方
3回目	ボディアクションの基礎の習得を行う③○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら対人での拳の通し方・蹴りの出し方
4回目	ボディアクションの基礎の習得を行う④○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対1のアクション
5回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑤○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対1のアクション
6回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑥○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対1のアクション
7回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑦○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対1のアクション
8回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑧○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対2のアクション
9回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑨○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対2のアクション
10回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑩○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対2のアクション
11回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑪○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対2のアクション
12回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑫○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対2のアクション
13回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑬○授業心得の説明○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型【オーソドックススタイル・サウスボースタイル】・蹴りの基本の型【前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右】)○移動しながら1対2のアクション
14回目	後期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が重要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋力トレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	アクションは実際に殴ったり蹴ったりする格闘技ではなく、戦っているように見せる演技です。 近年、映画やドラマだけでなく2.5次元舞台でも戦う物が増えて来ています。 俳優だけでなく表現者として必要な技術となりますので、体調管理をしっかりと休まないようにしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
通年：動きやすい服装・上履き	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	兼田 めぐみ
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1	開講区分	前期
コース	声優＆アーティスト専攻					曜日・時限	月曜日3.4限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

アフレコを行うためには、演じる上での基礎力、表現力を安定させた上で、アフレコを実際に行う際の専門的な技術が必要です。この授業ではまず感情解放、エチュード、シアターゲームなどを行い表現することに慣れ、そして様々な台本を用いて音に特化した基礎力と表現力を身につけるためのマイク前演習を行う。

※実務者経験：声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。

【到達目標】
人に伝わる発声力、滑舌力を最低限確保し、表現する楽しさを体感する。
目標①人前で表現することへの抵抗をなくす
目標②マイク前でも全身で表現できる
目標③最低限人に聞き取れるだけの発声力、滑舌力の安定

授業計画・内容	
1回目	(目標①) 自己紹介、初見力チェック、今後の目標設定を行う
2回目	(目標①、③) シアターゲーム、エチュード、滑舌練習課題を行う
3回目	(目標①、③) シアターゲーム、エチュード、滑舌練習課題を行う
4回目	(目標①) シアターゲーム、エチュード、感情解放が出来るようになる
5回目	(目標①) シアターゲーム、滑舌練習、セリフ原稿を読めるようになる
6回目	(目標②) セリフ原稿／マイク前での表現が出来るようになる
7回目	(目標②) セリフテクニック講義／セリフ原稿での実践を行う出来るようになる
8回目	(目標②) 掛け合い／人と一緒に作品を行う
9回目	(目標②) サウンドドラマ1／台本を読み解くが出来るようになる
10回目	(目標②) サウンドドラマ2／複数人と作品作り、舞台を想定して作品を作り上げる
11回目	(目標②) サウンドドラマ2／複数人と作品作り、舞台を想定して作品を作り上げる
12回目	(目標②) サウンドドラマ3／舞台発表を行う
13回目	(目標②) サウンドドラマ3／舞台発表を行う
14回目	(目標②) サウンドドラマ4／音声作品としての収録を行う(※期末試験とする)
15回目	前回の音声を再生し、今期の目標達成度の確認と後期の目標設定を行う
準備学習 時間外学習	目標③日々の積み重ねでしか習得できないものなので、毎日必ず日課として発声、滑舌練習を行ってください。 こちらの提示する課題をクリアできるまで毎週小テストを行います。
評価方法	基礎力、表現力はもちろん大切ですが、一般常識として授業への取り組み方も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●滑舌・発声の小テスト（30％） ●授業態度・出席率（30％） ●表現力（30％） ●期末テスト（10％）
受講生への メッセージ	常に楽しむ心を大切にしてください。ふざけるということではなく、目の前の事に興味を持ち、前向きに取り組むということです。 評価方法に記載している通り、取り組み方も重視していますので意識の持ち方も学んでいきましょう。 みなさんの具合を見ながらレッスンを進めていくので多少内容はシラバスと変わる可能性はあります。
【使用教科書・教材・参考書】	
アクセント辞典	

2026年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	兼田 めぐみ
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	1	開講区分	後期
コース	声優＆アーティスト専攻			(単位)		曜日・時限	月曜日3.4限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

アフレコを行うためには、演じる上での基礎力、表現力を安定させた上で、アフレコ実際に行う際の専門的な技術が必要です。この授業ではまず感情解放、エチュード、シアターゲームなどを行い表現することに慣れ、そして様々な台本を用いて音に特化した基礎力と表現力を身につけるためのマイク前演習を行う。

※実務者経験：声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。

【到達目標】

人に伝わる発声力、滑舌力を最低限確保し、表現する楽しさを体感する。

目標①人前で表現することへの抵抗をなくす

目標②マイク前でも全身で表現できる

目標③最低限人に聞き取れるだけの発声力、滑舌力の安定

授業計画・内容	
1回目	視聴者の対象年齢を踏まえての表現を考える 後期の目標設定。ボイスドラマ教材②の班決め、読み合わせ。滑舌チェック。
2回目	実際に動きをつけ、全身で台本を演じきる ボイスドラマ教材② それぞれに持ち寄ったアイデアを詰める練習時間を取った後、仮発表。 舞台として細かく作り上げて、セリフや動きの共有をおこなっていく。
3回目	舞台としてドラマを完成させる ボイスドラマ教材② 最終確認の練習時間を取り、舞台として各班ごとに発表していただきます。
4回目	先週の舞台を声だけで再現する ボイスドラマ教材② 先週舞台として作り上げたものをマイク前で収録を行います。 全身で演じたものをどうやって音だけで再現するかを練習して収録していきます。
5回目	先週の反省、今後の課題を見つける。 先週収録したボイスドラマ教材②を聴いていきます。その反省を踏まえて次のボイスドラマ教材③へ入っていきます。 また新たな台本での班決めや打ち合わせ時間を作ります。
6回目	読むのではなく演じるという感覚を身につける ボイスドラマ教材③ 各班ごとに細かく返して精度を上げていきます。一度収録してみます。
7回目	自分たちで考える力や習慣を身につける ボイスドラマ教材③ 先週収録したものを聴き、各班ごとに自分たちでどう改善すべきかを打ち合わせていただき、本番の収録をおこなっていきます。
8回目	演じたものがどう聴こえているのかを客観的に受け止める 先週収録した音声を聴き、ディスカッションしていきます。また、アフレコについての説明などもおこなっていきます。
9回目	アフレコの難しさを体感し、危機感を向上させる①アフレコ題材を使用して、実際にアフレコをおこなっていきます。まずは短いシーンから試して繰り返ししていきます。
10回目	アフレコの難しさを体感し、危機感を向上させる② アフレコ題材を使用して、実際にアフレコをおこなっていきます。まずは短いシーンから試して繰り返ししていきます。
11回目	まずは絵に合わせることにできる。マイクワークを考える① 先週よりも長めのシーンを用いて何度もアフレコを行い、まずは慣れていただきます。録って実際にみてみましょう。
12回目	まずは絵に合わせることにできる。マイクワークを考える② 先週よりも長めのシーンを用いて何度もアフレコを行い、まずは慣れていただきます。録って実際にみてみましょう。
13回目	自分の役に責任を持って生きる① 長めのシーンをアフレコしていきます。テスト、ディレクション、本番と行い、今期の成果を収録します。
14回目	自分の役に責任を持って生きる② 長めのシーンをアフレコしていきます。テスト、ディレクション、本番と行い、今期の成果を収録します。
15回目	後期試験 オーディションのように当日課題でセリフへの適応力や基礎力を見せていただきます。
準備学習 時間外学習	目標③日々の積み重ねでしか習得できないものなので、毎日必ず日課として発声、滑舌練習を行ってください。 こちらの提示する課題をクリアできるまで毎週小テストを行います。
評価方法	基礎力、表現力はもちろん大切ですが、一般常識として授業への取り組み方も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●滑舌・発声の小テスト（３０％） ●授業態度・出席率（３０％） ●表現力（３０％） ●期末テスト（１０％）
受講生へのメッセージ	常に楽しむ心を大切にしてください。ふざけるということではなく、目の前の事に興味を持ち、前向きに取り組むということです。評価方法に記載している通り、取り組み方も重視していますので意識の持ち方も学んでいきましょう。みなさんの具合を見ながらレッスンを進めていくので多少内容はシラバスと変わる可能性があります。
【使用教科書・教材・参考書】	
アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日・2限
コース	声優&アーティスト専攻						
【授業の学習内容】							

発声の理解を深め、歌唱の実力を高める。基礎力の持続定着。音域の開発。読譜力の向上。

【到達目標】

1年次の基礎力の安定と発展。楽譜を見ながら、正しい音程、リズム、テンポで歌う。

授業計画・内容

- 1回目 ・基礎力の必要性の再確認。2年授業の説明、諸注意など。1年次の復習。（基本姿勢、腹式呼吸、支え、喉の開放）
- 2回目 ・読譜練習、短フレーズでの初見練習
- 3回目 ・鍵盤を使用した発声練習方法。発声練習の音階説明。
キーボードを用いて、一人一人のレベルに応じて行う。音程の一つ一つを自分で認識しながら行う。
- 4回目 ・リズムに左右されず正しい音程で歌う。発声。リズムをたたきながら、音階を歌う。（見譜、暗譜）
- 5回目 ・歌唱へつなく為の活舌強化。活舌練習、母音の安定化、子音の安定化。
- 6回目 ・声の安定化、順次進行の強化。声区により声質が変わらないよう意識しながら、響き、支えを高めていき、声のバランスを安定させる
- 7回目 ・発声から曲へのつながりを理解する。発声を用いて体の支えや、体の使い方を一人ずつ確認。発声から曲への移行で同じ事を一人ずつ確認。
- 8回目 ・発声、ユニットライブ①各グループごとで選曲、タイムテーブル作成など一連の流れを経験しライブを行う。
聴き手もアドヴァイスを提出。後期に行う単独ライブを行う前段階として。
- 9回目 ・発声、ユニットライブ②
- 10回目 ・発声、ユニットライブ③
- 11回目 読譜力の強化、複雑なリズムの反復練習。アーティスト曲の読譜、リズムの徹底化。
- 12回目 前期試験①
- 13回目 前期試験②

14回目

15回目

発声練習、体力作り、

準備学習
時間外学習

評価方法

出席日数、授業態度、試験

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格

受講生への
メッセージ

1年次での基礎を踏まえてさらに基礎強化をしていきます。実践、応用を交えながら歌唱力、表現力の向上をめざします。日々のトレーニングの継続が必須です。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	2	開講区分	後期
コース	声優&アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日・2限
【授業の学習内容】							

発声の理解を深め、歌唱の実力を高める。基礎力の持続定着。音域の開発。読譜力の向上。

【到達目標】

1年次の基礎力の安定と発展。楽譜を見ながら、正しい音程、リズム、テンポで歌う。

授業計画・内容

- 1回目 ・基礎力の必要性の再確認。2年授業の説明、諸注意など。1年次の復習。（基本姿勢、腹式呼吸、支え、喉の開放）
- 2回目 ・読譜練習、短フレーズでの初見練習
- 3回目 ・鍵盤を使用した発声練習方法。発声練習の音階説明。
キーボードを用いて、一人一人のレベルに応じて行う。音程の一つ一つを自分で認識しながら行う。
- 4回目 ・リズムに左右されず正しい音程で歌う。発声。リズムをたたきながら、音階を歌う。（見譜、暗譜）
- 5回目 ・歌唱へつなく為の活舌強化。活舌練習、母音の安定化、子音の安定化。
- 6回目 ・声の安定化、順次進行の強化。声区により声質が変わらないよう意識しながら、響き、支えを高めていき、声のバランスを安定させる
- 7回目 ・発声から曲へのつながりを理解する。発声を用いて体の支えや、体の使い方を一人ずつ確認。発声から曲への移行で同じ事を一人ずつ確認。
- 8回目 ・発声、ユニットライブ①各グループごとで選曲、タイムテーブル作成など一連の流れを経験しライブを行う。
聴き手もアドヴァイスを提出。後期に行う単独ライブを行う前段階として。
- 9回目 ・発声、ユニットライブ②
- 10回目 ・発声、ユニットライブ③
- 11回目 読譜力の強化、複雑なリズムの反復練習。アーティスト曲の読譜、リズムの徹底化。
- 12回目 後期試験①
- 13回目 後期試験②

14回目

15回目

発声練習、体力作り、

準備学習
時間外学習

評価方法

出席日数、授業態度、試験

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格

受講生への
メッセージ

1年次での基礎を踏まえてさらに基礎強化をしていきます。実践、応用を交えながら歌唱力、表現力の向上をめざします。日々のトレーニングの継続が必須です。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

2025年度 前期 シラバス

科目名 (英)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員
学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	2	開講区分 前期 曜日・時限 曜日 限
専攻	【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）				

【到達目標】

授業計画・内容 （下記の回数を前期の予定授業時間数に割り振り、各回2時間か3時間程度あてる。）

- 1回目
- 2回目
- 3回目
- 4回目
- 5回目
- 6回目
- 7回目
- 8回目
- 9回目
- 10回目
- 11回目
- 12回目
- 13回目
- 14回目
- 15回目

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験 (60%) 2. 小テスト (20%) 3. レポート (20%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	各授業の中でチェック項目を設けそれぞれに点数を振り分け、それを学期末に合計する事を採点方法とする。
------	---	---	---

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	必修 選択	年次	担当教員
学科	授業 形態	総時間 (単位)	フルネーム (ニックネームは不可)
コース	必修・選択必修・選択等	開講区分	前期・後期
	講義 or 演習	曜日・時限	○曜○限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

担当教員は実務経験を簡潔に記載し、科目との関連性を示すと記載する

○○について学ぶ・∞について理解するはNG。説明ができる・実習を行う・習得する等の動詞はOK

【到達目標】

当該科目授業を習得後、学生がどのような状態になってほしいかを明確な表現(動詞)を用い記入

○○について学ぶ・∞について理解するはNG。説明ができる・実習を行う・習得する等の動詞はOK

授業計画・内容

1回目
2回目
3回目
4回目
5回目
6回目
7回目
8回目
9回目
10回目
11回目
12回目

当該日の単元や学習内容について簡潔に記入

準備学習
時間外学習

予習や復習等、授業時間外の学習について記入

授業内の活動と関連付けられているか

評価方法

1. 定期試験 (60%)	GPA制度 100点 S	評価方法はGPA制度となります
2. 小テスト (20%)	90点 A	100~90点 S
3. レポート (10%)	80点 B	89~80点 A
4. 課題成果 (%)	70点 C	79~70点 B
5. 実地試験 (%)	60点 F 不合格	69~60点 C
		59点以下 F 不合格

教育指導要領に学則規定に従い記入

到達目標と評価方法がリンクしているか

受講生への
メッセージ

受講において必要なことや心がけてほしい事項、特別な配慮等学生への留意事項や通知などを記入

【使用教科書・教材・参考書】

使用する教科書や参考書等記入
購入が必要なものはその旨を記入し、購入に必要な情報を提示

]

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

2026年度 前期 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	寺澤由依
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	2	開講区分	前期
専攻	全専攻					曜日・時限	月 曜日 3限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験のある教員:THE SOULMATICISにて15年以上に渡り全国の学校やボーカalsクール、プロダクション、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクション（歌唱指導）をおこなっている。

現在ではAi、chira、DOBERMAN INFINITYなどのバックコーラスにて全国ツアーを回る。

授業内容

外化（話すこと）、発声、歌唱指導の3つを軸に、マインド、基礎、スキルを伸ばしていく。毎週、発声が正しくできているかをチェックし、課題【到達目標】

①マインド・・・人間力を鍛え、自身の目標達成と、自身もまだ見えていない可能性が見えるようになる。 ②基礎・・・シンガーとしての基礎、正しいトレーニング方法を学び、自身の本当の声を見つけることができる。③スキル・・・洋楽を学び、世界基準で幅広く活躍していける人材になる。

授業計画・内容（下記の回数を前期の予定授業時間数に割り振り、各回2時間か3時間程度あてる。）

- 1回目 授業内容説明、正しい姿勢&呼吸法レクチャー、英語の曲のアナライズの仕方、Singレクチャー。
- 2回目 外化、姿勢と呼吸チェック、低音三種の発声レクチャー、課題曲歌唱。
- 3回目 外化、姿勢と呼吸と低音三種の発声チェック、イのストレッチレクチャー、課題曲歌唱。
- 4回目 外化、姿勢と呼吸と低音三種の発声とイのストレッチをチェック、ファルセットレクチャー、課題曲歌唱。
- 5回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 6回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 7回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 8回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 9回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 10回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 11回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 12回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 13回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 14回目 発表会準備
- 15回目 発表会

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験（60％）	評価方法はGPA制度となります
	2. 小テスト（20％）	100～90点 S
	3. レポート（20％）	89～80点 A
	4. 課題成果（％）	79～70点 B
	5. 実地試験（％）	69～60点 C
		59点以下 F 不合格

各授業の中でチェック項目を設けそれぞれに点数を振り分け、それを学期末に合計する事を採点方法とする。

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

2026年度 前期 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	寺澤由依
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	2	開講区分	後期
専攻	全専攻					曜日・時限	月 曜日 3限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験のある教員:THE SOULMATICISにて15年以上に渡り全国の学校やボーカalsクール、プロダクション、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクション（歌唱指導）をおこなっている。

現在ではAi、chira、DOBERMAN INFINITYなどのバックコーラスにて全国ツアーを回る。

授業内容

外化（話すこと）、発声、歌唱指導の3つを軸に、マインド、基礎、スキルを伸ばしていく。毎週、発声が正しくできているかをチェックし、課題【到達目標】

①マインド・・・人間力を鍛え、自身の目標達成と、自身もまだ見えていない可能性が見えるようになる。 ②基礎・・・シンガーとしての基礎、正しいトレーニング方法を学び、自身の本当の声を見つけることができる。③スキル・・・洋楽を学び、世界基準で幅広く活躍していける人材になる。

授業計画・内容 （下記の回数を前期の予定授業時間数に割り振り、各回2時間か3時間程度あてる。）

- 1回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 2回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 3回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 4回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 5回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 6回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 7回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 8回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 9回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 10回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 11回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 12回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 13回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 14回目 発表会準備
- 15回目 発表会

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験（60％）	評価方法はGPA制度となります
	2. 小テスト（20％）	100～90点 S
	3. レポート（20％）	89～80点 A
	4. 課題成果（％）	79～70点 B
	5. 実地試験（％）	69～60点 C
		59点以下 F 不合格

各授業の中でチェック項目を設けそれぞれに点数を振り分け、それを学期末に合計する事を採点方法とする。

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	片桐 佑季
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。 ※19歳から、ダンスの専門学校にてオールジャンルを学び、卒業後、名古屋にてインストラクターとして活動。2012年、静岡県を拠点とし、バックダンサー出演、ダンススタジオ運営、イベント制作、ダンスインストラクターとして活動。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる 4. 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる							

授業計画・内容	
1回目	集団（クラス）づくりの理解と実践（集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う）
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか？「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク：業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク：業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク：希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う
10回目	グループワーク：夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク：業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク：セルフマネジメント（自己理解）とチームマネジメント（協働作業）の振り返りを行う
13回目	グループワーク：振り返りとこれからの目標設定を行う
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	片桐 佑季
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目を更に充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ模擬オーディションを別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるためにイベント出演など校外学習を実施する。 ※19歳から、ダンスの専門学校にてオールジャンルを学び、卒業後、名古屋にてインストラクターとして活動。2012年、静岡県を拠点とし、バックダンサー出演、ダンススタジオ運営、イベント制作、ダンスインストラクターとして活動。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. プロフィールシート作成ができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	自己理解 ① 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR ・ 趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 <専門分野 ・ 関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 <志望動機 ・ 立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 +α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 +α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	2	開講区分	前期
コース	声優&アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日3.4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 ＊実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演(2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。) 【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	2年次の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が自分で理解し出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックのレパートリーを増やしパフォーマンスができるようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	1年次よりレベルをあげたステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
8回目	振り付けに合わせて、どんな歌唱パフォーマンスがあるか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンスができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができるようになる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、クオリティの高いパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度 (40%) 2. 実地試験 (60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	2	開講区分	後期
コース	声優&アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日3.4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 ＊実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演(2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。) 【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	卒業まで、卒業後の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知ることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	昨今のミュージックシーンに、多大な影響を与えているダンスジャンルPOPPINGの基礎を身につけることができる
8回目	アイソレーション、ポップ、サイドスライドを身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
9回目	ストレッチ、振り付け8X4を身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
10回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げるヴォーカルが引き立つ演出を中心に制作することができる
11回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げスキルアップをすることができる
12回目	服装、角度、ポーズ、パフォーマンスを様々なバリエーションでパフォーマンスが出来るようになる
13回目	改善点を見つけ、どのようにすると良くなるか反復練習し、クオリティの高い歌唱パフォーマンスが出来るようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度 (40%) 2. 実地試験 (60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	演技ファンダメンタルA・B	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	北岡亮輔
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	2	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻、声優&アーティスト専攻					曜日・時限	土曜日・3.4限

【授業の学習内容】

毎回基本的なウォーミングアップから始める。都度、演技力を高める訓練をし、演劇作りを通して基礎力と適応能力を養う。学期末に総合的なまとめ（課題発表など）を行います。

【到達目標】

演技者としての根本的な演技力、表現力、協調性を養う。

授業計画・内容

- 1回目 他己紹介を行い、演じる感覚を知ってもらいます
- 2回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。①
- 3回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。②
- 4回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。③
- 5回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。④
- 6回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく①
- 7回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく②
- 8回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく③
- 9回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく④
- 10回目 学期末制作①
- 11回目 学期末制作②
- 12回目 学期末制作③（リハーサル週）
- 13回目 学期末制作④（本番週）
- 14回目
- 15回目

毎回の課題に応じて、事前に読み込みや反復練習（自主練習）を行ってください。

準備学習
時間外学習

評価方法 授業内評価

評価方法はGPA制度となります
 100～90点 S
 89～80点 A
 79～70点 B
 69～60点 C
 59点以下 F 不合格

状況に応じて成果発表などを行い、毎回の授業での成長度合いも含めて評価基準とします。

受講生へのメッセージ 俳優も声優も、役を演じるという点では基本は同じです。役を演じるために必要な要素を、授業を通してまずは知ってください。

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、動きやすい服装。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	演技ファンダメンタルA・B	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	北岡亮輔
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	2	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻、声優&アーティスト専攻					曜日・時限	土曜日・3.4限

【授業の学習内容】

毎回基本的なウォーミングアップから始める。都度、演技力を高める訓練をし、演劇作りを通して基礎力と適応能力を養う。学期末に総合的なまとめ（課題発表など）を行います。

【到達目標】

演技者としての根本的な演技力、表現力、協調性を養う。

授業計画・内容

- 1回目 他己紹介を行い、演じる感覚を知ってもらいます
- 2回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。①
- 3回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。②
- 4回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。③
- 5回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。④
- 6回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく①
- 7回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく②
- 8回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく③
- 9回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく④
- 10回目 学期末制作①
- 11回目 学期末制作②
- 12回目 学期末制作③（リハーサル週）
- 13回目 学期末制作④（本番週）
- 14回目
- 15回目

毎回の課題に応じて、事前に読み込みや反復練習（自主練習）を行ってください。

準備学習
時間外学習

評価方法 授業内評価

評価方法はGPA制度となります
 100～90点 S
 89～80点 A
 79～70点 B
 69～60点 C
 59点以下 F 不合格

状況に応じて成果発表などを行い、毎回の授業での成長度合いも含めて評価基準とします。

受講生への
メッセージ 俳優も声優も、役を演じるという点では基本は同じです。役を演じるために必要な要素を、授業を通して0まずは知ってください。

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、動きやすい服装。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	台詞モノローグ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	北岡亮輔
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	2	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻					曜日・時限	土曜日・5限
【授業の学習内容】							

紙媒体のテキストを用いて、朗読やセリフなど、様々な声の表現を個々の個性も捉えながら実技授業という形式で進めて行く。身体と声を使った実験を通して、声のみの表現とは何かを、一年を通して追求していく。

※1995年から、声優・ナレーション業を務めてきた。2000年以降は活動の中心を舞台に集中し活動。）

【到達目標】

- ①サブテキストをよみとる
- ②様々な視点をもって物語がみられるようになる。
- ③前後の文脈を理解しつつ、登場人物の衝動からセリフ（声ことば）が出るようになる

授業計画・内容

- 1回目 まずセリフとはなにかを知る
- 2回目 ダイアログとモノローグの違い
- 3回目 ダイアログのテキストを用いてシナリオを分析する。読み合わせる。①
- 4回目 ダイアログのテキストを用いてシナリオを分析する。読み合わせる。②
- 5回目 ダイアログのテキストを用いてシナリオを分析する。読み合わせる。③
- 6回目 ダイアログのテキストを用いてシナリオを分析する。読み合わせる。④
- 7回目 テキストの内容に沿って、最も適したセリフ表現を行う①
- 8回目 テキストの内容に沿って、最も適したセリフ表現を行う②
- 9回目 テキストの内容に沿って、最も適したセリフ表現を行う③
- 10回目 テキストの内容に沿って、最も適したセリフ表現を行う④
- 11回目 テキストを通して、ダイアログとモノローグを使い分ける①
- 12回目 テキストを通して、ダイアログとモノローグを使い分ける②
- 13回目 テキストを通して、ダイアログとモノローグを使い分ける③

14回目

15回目

事前に配布してあるテキスト集を、指定されたパートを自宅で練習・準備をしておく。練習時間は、10～40分ほど。

準備学習
時間外学習

評価方法 授業内評価

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格

基本的にディスカッションをしながら読み合わせの実技につなげていくので、その都度採点を行い全体の評価とします。

受講生へのメッセージ 台本には物語があり、物語の中で生きている登場人物たちがいます。登場人物は一人の人間です。生きてきた時間だけその人の人生があって、常に感情や考えを胸に秘めています。私たちは日常生活で会話するとk、思っていること全てを言葉に出して伝えることはありません。台本には物語の登場人物が何かを伝えたいから言葉を選んでセリフをしゃべっています。セリフとはそういうものだと思えるようになってくれればと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、テキスト

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	1	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜日3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。 目標②相手に声が届くようになる。							

授業計画・内容	
1回目	講義／発声（メカニズム）について。腹式呼吸のやり方、呼吸の体操の方法を習得する
2回目	演習／ストレッチ・呼吸の体操。表現に必要な声を出すことが出来るようになる
3回目	演習／ストレッチ・体力作り、発声（イエアオウ）が出来るようになる
4回目	演習／ストレッチ・発声（ウラ声・オモテ声）が出来るようになる
5回目	演習／ストレッチ・発声・ストレッチリーダーを決める
6回目	演習／ストレッチ（リーダーによる）発声・滑舌（外郎売）が出来るようになる
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト（外郎売り）を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 外郎売を覚える。
評価方法	①授業での学習成果（50%） ②テスト（50%）
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し（反復）が大事です。 演技をするための準備を（身体・声）しっかり学ぶこと。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の発音記号 ipad教材（ストレッチのやり方）	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	1	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜日3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。 目標②相手に声が届くようになる。							

授業計画・内容	
1回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
2回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
3回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
4回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
5回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
6回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑦
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑧
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑨
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑩
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑪
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑫
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト（戯曲セリフを抜粋）を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 セリフを覚える。
評価方法	①授業での学習成果（50%） ②テスト（50%）
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し（反復）が大事です。 演技をするための準備を（身体・声）しっかり学ぶこと。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の発音記号 ipad教材（ストレッチのやり方）	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
2026年度 前期 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス プロジェクト	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松本 恵
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	2	開講区分	前期
専攻	全専攻					曜日・時限	木 曜日 4、5 限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験のある教員：セントラル・ミュージックエンタテインメント株式会社の代表取締役であり、作曲家・ピアニスト・シンガーとしても活躍している音楽家。「Peace & Music ～音楽制作秘話と共に～」というライブイベントを開催し、自身が手がけたテレビ番組や映画の音楽を担当している。

授業内容：音楽業界で活動していくために必要なスキル、コミュニケーション力、具体的な用語、役割など基礎的な知識を習得するために実際の仕事のやり取りを提示して、問題点や自分ならどうするかといった具体的な解決法を探る"

【到達目標】

音楽の専門学校を卒業していくにあたり 必要な知識、また、社会に出て通用する 自己プロデュース能力や社会に適応したノウハウを実践・体感しつつ習得し現場での対応力を身につける

授業計画・内容 （下記の回数を前期の予定授業時間数に割り振り、各回2時間か3時間程度あてる。）

1回目 自己紹介&カウンセリング （対面と書面にて） 実践1 5/8 のリズムでコーラスワーク

2回目	自己アピール用の提出物作成
3回目	各自の今期の目標設定
4回目	音楽教師・インストラクターについて 参考例
5回目	ディレクターの役割
6回目	プロデューサーの役割
7回目	レコーディングエンジニアの役割
8回目	レコーディングエンジニアの役割
9回目	作曲から形になるまで
10回目	アレンジについて
11回目	案件 実践1
12回目	楽譜作成・ライブラリアンの役割1 ドラム譜 ト音記号へ音記号 ソプラノ記号 弦楽器の表記 等々
13回目	自分の曲または好きな曲のレコーディング用のマスターリズム または 楽譜の作成
14回目	バンド演奏時の機材セッティング 準備について
15回目	テスト
	プリント用意

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験（10％）	評価方法はGPA制度となります	各授業の中でチェック項目を設けそれぞれに点数を振り分け、それを学期末に合計する事を採点方法とする。
	2. 小テスト（10％）	100～90点 S	
	3. レポート（30％）	89～80点 A	
	4. 課題成果（30％）	79～70点 B	
	5. 実地試験（20％）	69～60点 C 59点以下 F 不合格	

受講生へのメッセージ
不安、苦手なものは、習得できるように、個々にそぐした意味のある課題をだすので、意欲的に取り組んでいただきたいです。また実践重視で、実際の現場で起こっていることを課題に取り上げていきます。実際に役にたつ情報や知識をどんどん吸収して、一緒に高めていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
2026年度 前期 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス プロジェクト	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松本 恵
学科	音楽テクノロジー科	授業	講義演習	総時間 (単位)	2	開講区分	後期
専攻	全専攻	形態				曜日・時限	木 曜日 4、5 限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験のある教員：セントラル・ミュージックエンタテインメント株式会社の代表取締役であり、作曲家・ピアニスト・シンガーとしても活躍している音楽家。「Peace & Music ～音楽制作秘話と共に～」というライブイベントを開催し、自身が手がけたテレビ番組や映画の音楽を担当している。

授業内容：音楽業界で活動していくために必要なスキル、コミュニケーション力、具体的な用語、役割など基礎的な知識を習得するために実際の仕事のやり取りを提示して、問題点や自分ならどうするかといった具体的な解決法を探る"

【到達目標】

音楽の専門学校を卒業していくにあたり 必要な知識、また、社会に出て通用する 自己プロデュース能力や社会に適応したノウハウを実践・体感しつつ習得し現場での対応力を身につける

授業計画・内容 （下記の回数を前期の予定授業時間数に割り振り、各回2時間か3時間程度あてる。）

- 1回目 カウンセリング1（自己アピールできる楽曲の提出 ）
- 2回目 カウンセリング2（今現在の問題点について） 実技好きな楽曲の構成をする
- 3回目 プロデュース例1（女性シンガーで作詞はできる飲み屋の人のプロデュース行程をシュミレーションする、 実技 耳コピ① キーの把握 調合の付け方を習得する
- 4回目 プロデュース1の予算を決める 実技 しゃろうの様なループ音源の制作
- 5回目 プロデュース1の質問内容を決める 実技 弦アレンジと転調、テンションについての課題をここにあわせて
- 6回目 プロデュース1の工程表を作る 実技 制作① ミュージック・アワードで注目された楽曲の分析
- 7回目 領収書、契約書、請求書の書き方と送付状の書き方 制作② 上記提出の回答をディスカッションする
- 8回目 耳コピ② 楽譜に概要を記す（サイズのわかるもの） ベース音を摂る 実技 制作② コンセプトを決める
- 9回目 耳コピ③ コードを採る 決めについて リズムワークの基礎 参考楽曲 rose 赤崎鈴 等 実技 楽曲制作 1ヶ月かけて制作
- 10回目 耳コピ③ 形にする（楽譜、プログラミング） 実技 楽曲制作 1ヶ月かけて制作
- 11回目 自己アピールできるものについての授業 二人ずつ 実技 できた人から、サブスクに上げるための動画制
- 12回目 自己アピールできるものについての授業 二人ずつ 実技 提出 アップロード
- 13回目 自己アピールできるものについての授業 二人ずつ 実技 提出 アップロードしたものの評価をみる
- 14回目 自己アピールできるものについての授業 二人ずつ
- 15回目 総評 テスト キーの把握と制作物の提出
その都度制作したプロントを配布

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験（10％）	評価方法はGPA制度となります	各授業の中でチェック項目を設けそれぞれに点数を振り分け、それを学期末に合計する事を採点方法とする。
	2. 小テスト（10％）	100～90点 S	
	3. レポート（30％）	89～80点 A	
	4. 課題成果（30％）	79～70点 B	
	5. 実地試験（20％）	69～60点 C	
		59点以下 F 不合格	

不安、苦手なものは、習得できるように、個々にそぐした意味のある課題をだすので、意欲的に取り組んでいただきたいです。また実践重視で、実際の現場で起こっていることを課題に取り上げていきます。実際に役にたつ情報や知識をどんどん吸収して、高めていきましょう！

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	フリートークA・B	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	相川 真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1	開講区分	前期
コース	声優&アーティスト専攻					曜日・時限	月曜日1,2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アクセントを習得することは、表現に携わる人の必須課題のひとつです。この授業では、アクセントや発声の基礎を学び、声を使う仕事に必要な基本的技術・知識を身につけます。 ※実務者経験：地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティー、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。							
【到達目標】 アクセントを意識した発声を通じて、基本と言われるアクセント法則を習得する。 原稿読みを通して、伝える技術を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	標準語、標準アクセントの定義を理解し、説明することが出来る
2回目	アクセントの種類を理解出来るようになる
3回目	有声音と無声音について理解し、発音することが出来る①
4回目	有声音と無声音について理解し、発音することが出来る②
5回目	鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る①
6回目	鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る②
7回目	撥音、促音、拗音の発音について理解し、発音することが出来る
8回目	長母音、連母音、重母音の発音について理解し、発音することが出来る
9回目	尾高形の名詞＋「の」の平板化とその例外、名詞のアクセント活用について理解し、発音できる
10回目	平板動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
11回目	起伏動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
12回目	アクセント習得のため、実際原稿読みを行う①
13回目	アクセント習得のため、実際原稿読みを行う②
14回目	前期総括 これまで習得したアクセントや、その法則の振り返りを行う
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	アクセント習得は、日々の積み重ねでしか習得することが出来ません。 授業内だけでなく、授業後の復習や、他の授業においても注意するなど、普段からアクセントを意識した姿勢で過ごすことが必要です。
評価方法	①定期テスト: 50% ②課題成果: 40% ③授業態度、参加度: 10% 評価はGPA制度 100点満点 S 80～89点 A 70～79点 B 60～69点 C 50～59点 D 40～49点 E 30～39点 F 不合格
受講生への メッセージ	アクセントの習得は、声を使う仕事をする人すべての礎（いしずえ）となります。「アクセント・アナウンスメント」の授業では、普段使っている「日常語」ではなく、現場において必ず必要な「標準語・共通語」について学び、身につけていきます。樹木で言うと根っここの部分です。しっかり根を張って、雨風にも負けない大きく丈夫な樹木に育つよう、しっかり学んでいきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	フリートークA・B	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	相川 真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1	開講区分	後期
コース	声優＆アーティスト専攻					曜日・時限	月曜日1,2限
【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） アクセントを習得することは、表現に携わる人の必須課題のひとつです。この授業では、アクセントや発声の基礎を学び、声を使う仕事に必要な基本的技術・知識を身につけます。 ※実務者経験：地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティー、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。							
【到達目標】 アクセントを意識した発声を通じて、基本と言われるアクセント法則を習得する。 原稿読みを通して、伝える技術を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返りを行う。
2回目	実践的な原稿を使用して、アクセントの種類を理解し、説明することが出来る
3回目	実践的な原稿を使用して、有声音と無声音について理解し、発音することが出来る①
4回目	実践的な原稿を使用して、有声音と無声音について理解し、発音することが出来る②
5回目	実践的な原稿を使用して、鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る①
6回目	実践的な原稿を使用して、鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る②
7回目	実践的な原稿を使用して、撥音、促音、拗音の発音について理解し、発音することが出来る
8回目	実践的な原稿を使用して、長母音、連母音、重母音の発音について理解し、発音することが出来る
9回目	実践的な原稿を使用して、尾高形の名詞＋「の」の平板化とその例外、名詞のアクセント活用について理解し、発音できる
10回目	実践的な原稿を使用して、平板動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
11回目	実践的な原稿を使用して、起伏動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
12回目	実践的な原稿を使用して、アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う①
13回目	実践的な原稿を使用して、アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う②
14回目	実践的な原稿を使用して、前期総括 これまで習得したアクセントや、その法則の振り返りを行う
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	アクセント習得は、日々の積み重ねでしか習得することが出来ません。 授業内だけでなく、授業後の復習や、他の授業においても注意するなど、普段からアクセントを意識した姿勢で過ごすことが必要です。
評価方法	①定期テスト：50％ ②課題成果：40％ ③授業態度、参加度10％
受講生への メッセージ	アクセントの習得は、声を使う仕事をする人すべての礎（いしずえ）となります。「アクセント・アナウンスメント」の授業では、普段使っている「日常語」ではなく、現場において必ず必要な「標準語・共通語」について学び、身につけていきます。樹木で言うと根っここの部分です。しっかり根を張って、雨風にも負けない大きく丈夫な樹木に育つよう、しっかり学んでいきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日・1限
コース	全コース						
【授業の学習内容】							

音楽の言語ともなる音楽的理論について解説し、問題を解いていく
専門的な学習を通して、演奏や創作活動に結びつくよう学修する

【到達目標】

音楽に関する基礎的なルール、楽語を理解する
音楽理論を学ぶ必要性と目的を理解する

授業計画・内容

- 1回目 【音名を知る】鍵盤と音名を一致させ、各楽器の音域を知る
- 2回目 【音符、休符】音符休符の表記法、長さ、連符
- 3回目 【拍子記号】拍子記号の意味、小節線、拍子の種類、タイ、シンコペーション
- 4回目 【反復記号】反復記号の種類、反復記号の楽譜読み
- 5回目 【確認テスト】前半の理解度確認、復習テスト
- 6回目 【メジャースケール①】メジャースケールの仕組み、＃系のメジャースケール
- 7回目 【メジャースケール②】♭系のメジャースケール
- 8回目 【五度圏、調号】五度圏の活用方法、調号のしくみ
- 9回目 【記譜法、臨時記号】正しい楽譜表記法、臨時記号の効力、調号との違い
- 10回目 【テンポ、強弱記号】速度記号、速度標語、強弱記号
- 11回目 【期末テスト予習】後半の総復習
- 12回目 【期末テスト】前期授業で学習した内容から出題
- 13回目 【期末テスト返却】確認、前期の再復習

14回目

15回目

授業後の復習

準備学習
時間外学習

評価方法	試験80% 出席率、授業態度20%	評価方法はGPA制度となります	
		100～90点	S
		89～80点	A
		79～70点	B
		69～60点	C
		59点以下	F 不合格

受講生へのメッセージ 音楽理論は音楽の基礎となり、積み重ねの学習が必要です
まずは内容を理解し、実践でスムーズに活用できるよう用語などは覚えていきましょう

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、ワークブック

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	2	開講区分 曜日・時限	後期 木曜日・1限
コース	全コース						
【授業の学習内容】							

音楽の言語ともなる音楽的理論について解説し、問題を解いていく
専門的な学習を通して、演奏や創作活動に結びつくよう学修する

【到達目標】

音楽に関する基礎的なルール、楽語を理解する
音楽理論を学ぶ必要性と目的を理解する

授業計画・内容

- 1回目 【音名を知る】鍵盤と音名を一致させ、各楽器の音域を知る
- 2回目 【音符、休符】音符休符の表記法、長さ、連符
- 3回目 【拍子記号】拍子記号の意味、小節線、拍子の種類、タイ、シンコペーション
- 4回目 【反復記号】反復記号の種類、反復記号の楽譜読み
- 5回目 【確認テスト】前半の理解度確認、復習テスト
- 6回目 【メジャースケール①】メジャースケールの仕組み、＃系のメジャースケール
- 7回目 【メジャースケール②】♭系のメジャースケール
- 8回目 【五度圏、調号】五度圏の活用方法、調号のしくみ
- 9回目 【記譜法、臨時記号】正しい楽譜表記法、臨時記号の効力、調号との違い
- 10回目 【テンポ、強弱記号】速度記号、速度標語、強弱記号
- 11回目 【期末テスト予習】後半の総復習
- 12回目 【期末テスト】前期授業で学習した内容から出題
- 13回目 【期末テスト返却】確認、1年間の総復習

14回目

15回目

授業後の復習

準備学習
時間外学習

評価方法	試験80% 出席率、授業態度20%	評価方法はGPA制度となります	
		100～90点	S
		89～80点	A
		79～70点	B
		69～60点	C
		59点以下	F 不合格

受講生へのメッセージ 音楽理論は音楽の基礎となり、積み重ねの学習が必要です
まずは内容を理解し、実践でスムーズに活用できるよう用語などは覚えていきましょう

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、ワークブック

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	進級発表 (Advancement announcement)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	竹田 昌広
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	金曜日3・4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験：関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。							
【到達目標】 ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
11回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
12回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
13回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
14回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
15回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験（30％）②課題成果（40％）③出席率（30％）
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	進級発表 (Advancement announcement)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	竹田 昌広
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	金曜日3・4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験：関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。							
【到達目標】 ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
2回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
3回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
4回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
5回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
6回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
7回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をすることができる
11回目	リハーサル～実施に公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	進級発表本番1回目を行う
15回目	進級発表本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験 (30%) ②課題成果 (40%) ③出席率 (30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	